

第1回 調整会議 協議の内容

(平成20年1月23日開催)

■目的・基本理念について		
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的、基本理念については、プロセス検討会の案の説明があった以降、個別の柱立ての内容検討が中心であったため、委員全員の中でまだよく共有できていない 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「目的」にある「個性豊かで活力ある自立した地域社会の実現」とは具体的にどんなものか 	会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念に基づいて、市民はどうするか、行政はどうするか、と考えていくと条例を考えやすい 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会」のとらえ方は広狭様々できる→共通認識が必要 	
■柱立てについて		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民等の権利、責務」とせずに、「市民等の役割」として柱立てするほうがわかりやすい(権利をあまり意識しないで済むし、義務的なものも含めて考えることもできる) 	会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域コミュニティ」の柱立て特出しでつくっているのは、これからつくる山口の特徴になる(ユニークで面白い) これまでの議論の中で、自治会の重要性について色々議論してきた結果を受けたもの 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民等の権利責務」の柱で4つの主体について頭出しをした上で、地縁型と目的型コミュニティについては、この条例中でも重要度が高いので「地域コミュニティ」の章で改めて特出し(規定)したもの 	会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・このたたき台にあがっている5つの柱立てはそれぞれ性格が異なる。「市民等の権利、責務」、「市の役割」、「地域コミュニティ」は主体についての話。「参画協働」、「情報共有」は、その主体同士の関係や取り決めの話 	会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・条例の構成上、まずは主体とは何かが重要になる 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の役割については、まちづくりにおける一般的な役割(責務)のほかに、地域コミュニティにおける市民の役割もある 	副会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域コミュニティ」のところでは、地域コミュニティの理想的なあり方や、その仕組みを規定し、「市民等の責務」、「行政の役割」では、これを推進するためのそれぞれの主体の役割ということで考えると、話が整理できる 	副会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を別立てでするかによって、各章で「情報」についてどのように規定するかが変わる 	
■市民等の権利、責務		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民等の権利・責務」とせずに「市民(個人)」に限定した権利・責務としたほうがよい 地縁型とか、目的型というのは自治会、市民活動などの市民に分かりやすい表現に変える 	
■参画、協働について		
	<ul style="list-style-type: none"> ・参画、協働についての話を深め、内容、定義をはっきりさせる 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・参画、協働を推進していくためのプロセスについて触れておくことも必要 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市の政策策定のどの部分まで市民がかかわるべきなのかがわからない 考え方のベースが必要 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政がやることに関してどの部分まで市民参画をするか。市民参画を進める一方で、本来行政のみが担うべき専門領域もある(男女共同参画は社会における男女の平等をいうので、ここでの「参画」とは内容がちがう。) 	会長
	<ul style="list-style-type: none"> ・参画は行政職員にとって大変な労力を強いるのも事実 参画は市民の自立、協働に向かっていくためのプロセスと考える 	副会長
	<ul style="list-style-type: none"> そのような目的意識をもって参画を考えると少し見えてくるのでは 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加・参画は個人でもできるが、協働は個人ではなく、組織と組織の関係で行うことができるもの 	副会長

■地域コミュニティ		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域コミュニティ」とは何かがはっきりすると、「市民等の権利・責務」の章のところの内容が決まる 地域コミュニティ=自治会と考えてよいのか。地域コミュニティの言葉になじみがなく、定義もあいまい →自治会関係者にもこの言葉の使い方について意見を聞いてみる必要がある ・地域コミュニティを元気にするというのが、山口らしさにつながる 	副会長
○各事務局説明資料(これからの地域社会づくり)について		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域交流センターの設置計画」と「まちづくり条例」との関係は？ →この計画は市民から沸きあがってきた内容ではないので、これを条例に入れたいといけないうことになると、行政による誘導にならないか →この計画は、行政が推進していくものではなく、あくまで地域コミュニティが育つように促進支援するもの。地域における、「補完性の原理」のしくみを具体化したもの ・地域交流センターの設置について条文でとりあげたとしても、これは1条ぐらいのもので、実際の運用は別の規則などで詳細を語るほうがよい 	事務局 会長
■各主体の役割		
	<p>市民 一番の中心にあるもの</p> <p>自治会 地域に根ざす(多くの目的のもとに組織されるが、自分たちの地域のことに限定した団体)</p> <p>NPO 地域の枠を越える(単一の目的のもとに複数地域にまたがった活動をしている)</p> <p>事業所 地域社会の一員(まちづくりにおいて協力してもらえらる範囲は限られる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地縁型はありとあらゆる役割を、目的型は特定の役割を果たしてきた →目的型、地縁型の役割をしっかりと分ける 	会長
○(自治会について)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会組織のあり方 現状では、市役所の業務の伝達機関としてしか機能していない ・自治会構成員の高齢化で機能喪失 自治会も時代に相応したものになる必要がある。 ・自治会の役員をやった人に対して、何らか評価されることが必要 →お金ではなく、名譽、功績を残すなど ・総合計画の中でも自治会に託される役割が大きくなってきている ・事業者の開発の際には、安心・安全に配慮してもらいたい →自治会の中でもめる原因 	会長
■条文の作り方		
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、個別のグループで柱立ての内容を検討していたので、全体の整合性がとれていない この調整会議では、その整合性をとる必要がある ・条例、条文は簡単、シンプルにして、詳しい内容は解説文に明記することとすべきでは →これを取り決めておくと、条文の内容を考える際にどこまで詳しく書くべきか迷わなくて済む ・定義をきちんと決める必要(用語説明も別に必要) ・目的、基本理念を委員の中でまずしっかり共有した上で、これに基づいて、柱立てを考える ・条文に内容が重なっている部分については調整が必要 ・理念型の条例だと、なかなか、自分達の生活の変化に現れにくい 	
■その他		
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに参加しないことにより、不利益(差別)されないことの配慮が必要ではないか →自治会に入らないことの自由は当然ある これをわざわざ謳うことは必要ないのではないか (文言を入れることにより、「入らなくてもよい」と逆説的にとられる可能性あり(マイナスになる)) ・基本理念に人権を取り扱っていないのが気にかかる(ベースとして必要ではないか) →この条例で取り扱う範囲が広がりすぎる 基本的人権を取り扱う法律、条例は他にあるので改めてここでは必要ないのではないか ・ボランティア(個人活動)についての取り扱いの検討が一度は必要 	会長 会長 会長

■次回市民会議の進め方

条文の検討に入る前に、まずは委員全員で協議すべきテーマ

- 地域コミュニティ(自治会など)
- 参加、参画、協働

- 1、自立した地域社会を実現するために、各主体(自治会、NPO、行政)が果たすべき役割を考える
→各班がグループワークで考えた条文を、目的を実現するために本当に必要かどうかを検証する
具体的には、各班の条文を切り貼りして「地域コミュニティ」、「参画、協働」のところに移動
(条文の必要性、内容の重複等のチェック)
その作業で残った条文については、改めてその必要性を検討する
- 2、用語の定義(「地域コミュニティ」、「地域社会」など)の情報提供